

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年11月20日 (2014.11.20)

【公開番号】特開2014-74161(P2014-74161A)

【公開日】平成26年4月24日 (2014.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-021

【出願番号】特願2013-186944(P2013-186944)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 L 25/04 (2006.01)

C 0 8 K 9/04 (2006.01)

C 0 8 K 3/22 (2006.01)

B 3 2 B 15/08 (2006.01)

B 3 2 B 15/20 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 25/04

C 0 8 K 9/04

C 0 8 K 3/22

B 3 2 B 15/08 E

B 3 2 B 15/20

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月6日 (2014.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリカーボネート樹脂 30 ～ 100 重量%、およびスチレン系樹脂 70 重量%以下を含む樹脂成分 100 重量部に対し、収束剤で被覆されたガラスフィラー 10 ～ 100 重量部、およびレーザーダイレクトストラクチャリング添加剤 2 ～ 20 重量部を含み、前記収束剤が、ポリオレフィン樹脂およびシリコーン樹脂から選択される少なくとも 1 種を含み、前記レーザーダイレクトストラクチャリング添加剤が、スズおよびアンチモンを含む金属酸化物を含み、

前記レーザーダイレクトストラクチャリング添加剤は、(1) 金属成分として、スズ 90 重量%以上およびアンチモン 2 ～ 7 重量%を含み、さらに、鉛および/または銅を 0.005 重量%以上含む金属酸化物であるか、(2) スズを主成分としアンチモンを含む組成物で被覆された、酸化チタンを含む金属酸化物粒子を含む、レーザーダイレクトストラクチャリング用樹脂組成物。

【請求項 2】

前記収束剤を、ガラスフィラーの 0.1 ～ 5.0 重量%の割合で含む、請求項 1 に記載のレーザーダイレクトストラクチャリング用樹脂組成物。

【請求項 3】

前記ポリオレフィン樹脂が、ポリエチレン樹脂である、請求項 1 または 2 に記載のレーザーダイレクトストラクチャリング用樹脂組成物。

【請求項 4】

樹脂成分として、スチレン樹脂を10重量%以上含む、請求項1～3のいずれか1項に記載のレーザーダイレクトストラクチャリング用樹脂組成物。

【請求項5】

さらに、エラストマーおよび/またはリン系安定剤を含む、請求項1～4のいずれか1項に記載のレーザーダイレクトストラクチャリング用樹脂組成物。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか1項に記載のレーザーダイレクトストラクチャリング用樹脂組成物を成形してなる樹脂成形品。

【請求項7】

さらに、表面にメッキ層を有する、請求項6に記載の樹脂成形品。

【請求項8】

前記メッキ層がアンテナとしての性能を保有する、請求項7に記載の樹脂成形品。

【請求項9】

携帯電子機器部品である、請求項6～8のいずれか1項に記載の樹脂成形品。

【請求項10】

請求項1～5のいずれか1項に記載のレーザーダイレクトストラクチャリング用樹脂組成物を成形してなる樹脂成形品の表面に、レーザーを照射後、金属を適用して、メッキ層を形成することを含む、メッキ層付樹脂成形品の製造方法。

【請求項11】

前記メッキが銅メッキである、請求項10に記載のメッキ層付樹脂成形品の製造方法。

【請求項12】

請求項10または11に記載のメッキ層付樹脂成形品の製造方法を含む、アンテナを有する携帯電子機器部品の製造方法。